

全群馬教役員と平田郁美、群馬県教育長が懇談



4月26日(月)に群馬県庁の教育長室を訪問して平田郁美・群馬県教育長と全群馬教役員との懇談会を行いました。

前任の笠原寛・教育長が3月末で退任し、4月より共愛学園副学園長・共愛学園前橋国際大学教授だった平田郁美氏が群馬県教育長に就任されました。

全群馬教からは、勅使河原章雄(執行委員長)、小野里隆(副執行委員長)、平石隆則(副執行委員長)、田中光則(副執行委員長)、重野勝美(書記長)、高橋航平(書記次長)の5人が参加しました。

学校現場の課題を率直に伝えました

◇課題山積の教育現場ですが、重点を3点に絞って懇談をしました。

1つ目は、少人数学級の問題です。今年度より35人学級が小1～中3まで制度として実現したこ

とは大きな前進でした。コロナをきっかけとしたものの、保護者と教育現場の願い、長年の運動が実ったことの喜びを伝えました。

同時に、群馬県では昨年度より教育予算が約1億円減らされ、教職員数も減らされたことは残念。30人学級実現に向けてさらなる教育条件整備を求めました。

2つ目は、コロナと学校現場が抱える諸問題。3つ目は、ICT教育の導入にかかわっての学校現場の混乱の事実を伝え、意見交換を行いました。

※山本一太知事が宇留賀副知事とともに、前のめりでICT教育を推進し始めた矢先の県教育長交代となり、群馬県初の女性教育長ともなりました。全群馬教は今後も率直な意見を群馬県教育委員会に届けます。



全群馬教職員組合

前橋市大渡町1-10-7群馬県公社総合ビル5F
 Tel. 027-210-7630(代) FAX 210-7631
 E-mail: zengunkyo@educas.jp